

1. 基本情報

- (1) 国名：キルギス共和国（以下、「キルギス」という。）
 - (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ジャララバード州
 - (3) 案件名：ビシュケクーオシュ道路ナリン川橋梁架け替え計画
(The Project for the Reconstruction of the Naryn River Bridge on the Bishkek–Osh Road)
- 計画の要約：本計画は、キルギスの北部と南部を結ぶ国際幹線道路であるビシュケクーオシュ道路において、ジャララバード州に位置する老朽化し耐荷重基準を満たしていないナリン橋を架け替えることにより、安全かつ安定的な運輸・交通の確保を図り、もって同国の安定した物流の促進を通じた、産業多角化に資するインフラ整備に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性**(1) 本計画を実施する外交的意義**

キルギスは、アジアと欧州、ロシアと中東を結ぶ国際交易ルート上重要な地域に位置しており、キルギスの安定と発展は、地域の安定に寄与する。また、キルギスは、1991 年の同国独立以来、日本と友好的な関係を築いており、国際場裡での日本との連携にも協力的である。我が国は、「中央アジア＋日本」対話等の枠組みで中央アジア諸国の「開かれ、安定し、持続可能な」発展を支えることとし、本計画は、2022 年 12 月、同対話・第 9 回外相会合において表明した、自由で開かれた中央アジアにおける持続可能な発展を達成するための「人への投資」と「成長の質」を重視した新しいモデルに沿った協力の後者を具体化するもの。キルギスの南北を結ぶ国際幹線道路であるビシュケクーオシュ道路のうち、ジャララバード州に位置する老朽化し耐荷重基準を満たしていないナリン橋を架け替えることは、同国国内の南北間の往来を活発化させ、近隣諸国との連結性を向上させることに繋がるという観点で、外交的意義が大きい。

(2) キルギスにおける運輸交通セクターの現状・課題及び本計画の位置付け

キルギスは内陸国であり、旅客輸送や貨物輸送の約 97%を道路交通に依存している。特にキルギスの北部に位置する首都ビシュケク市と南部に位置し同国第二の都市であるオシュ市を結ぶ主要幹線道路であるビシュケクーオシュ道路（総延長 672km）は、アジアハイウェイの一部を構成し、また中央アジアと欧州を繋ぐ国際回廊であるカスピ海ルートにもつながる戦略的な国際幹線道路として、地域連結性や国際物流の強化の面でも極めて重要な道路である。そのため、我が国も 2000 年代に円借款「ビシュケクーオシュ道路改修事業（第 1 期 1997 年 3 月 L/A 調印、第 2 期 1998 年 10 年 L/A 調印）」や無償「ビシュケクーオシュ道路クガルト川橋梁架け替え計画（2013 年 7 月 11 日 E/N 署名）」及び「ビシュケクーオシュ道路雪崩対策計画」（2017 年 3 月 30 日 E/N 署名）を通じて同道路の整備を支援してきた。また、現在も円借款「国際幹線道路改善事業」（2015 年 10 年 L/A 調印）や無償「ビシュケクーオシュ道路地吹雪対策計画」（2021 年 12 月 24 日 E/N 署名）により整備に関する協力を進めている。

同国最大の河川であるナリン川に架かるジャララバード州のナリン橋は、ビシュケクーオシ

ユ道路の中でも最長の橋梁（207.2メートル）であり、ナリン川の上流に数多く設置されている水力発電所へのアクセスにとっても重要な交通の要衝となっている。同橋梁は1964年に架設されてから60年が経過して老朽化が進んでいる。また、旧ソ連時代の基準に基づき設計されているため、耐荷重の現行設計基準を満たしておらず、現在計画されている新たな水力発電所の建設や既存の水力発電所の改修等のための建設資材の運搬に利用される際、現在の設計強度を大きく超える荷重の貨物トラックが頻繁に通行することにより、崩落リスクが高まる可能性が懸念されている。2020年に実施されたキルギスの運輸・通信省の道路維持管理局による橋梁点検の結果でも、コンクリートのひび割れや鉄筋露が発生するなど本橋梁の損傷は激しく、架け替えの必要性および緊急性が高いと判断されている。

キルギス政府は「国家戦略プログラム 2021-2030」（National Development Program 2021-2030）の重点分野の一つに「運送・ロジスティクス網」を掲げ、国際輸送回廊と国内道路網の修復を優先項目としている。また、道路セクターの開発計画「道路産業の発展にかかる主要方針 2023-2030」（Main Directions of Development of the Road Industry for 2023-2030）においては、国際幹線道路の改修や維持管理、橋梁建設にかかる近代的技術の取得が優先課題として掲げられている。

「ビシュケクーオシュ道路ナリン川橋梁架け替え計画」（以下、「本計画」という。）は、国際幹線道路であるビシュケクーオシュ道路のナリン橋を架け替えることにより、安全かつ安定的な運輸・交通の確保を図り、もって国際貿易や地域開発に資するものである。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

（1）計画概要

① 計画内容

ア）施設、機材等の内容

- ・新橋の建設（2車線、延長：約200m～250m）

イ）コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

- ・詳細設計、入札補助、施工監理、ソフトコンポーネントによる技術指導

② 期待される開発効果：

ナリン橋梁の架け替えにより、橋梁を通行可能な車両の最大重量（t/車両）が30t（基準値）から43t（事業完成時）に増えること等により、同橋梁の安全性が向上し、安全かつ安定的な運輸・交通が確保される。

③ 計画実施機関／実施体制：キルギス共和国交通通信省

④ 他機関との連携・役割分担：アジア開発銀行が道路や橋に必要な維持管理経費が確保される仕組み作り（道路基金等の設立）を支援しており、本計画で整備される橋梁も適切に維持管理される見込み。

⑤ 運営／維持管理体制：本計画で整備する橋梁の維持管理はキルギス道路公社（State Enterprise “Kyrgyz Avto Jol”）が担う。

（2）その他特記事項

- 環境社会配慮力カテゴリ分類：B

- ジェンダー分類：【確認中】■GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

- 中長橋梁の建設は我が国に優位性のある技術であり、キルギス独自での建設は困難であるため、キルギス政府の日本技術に対する信頼性や期待は大きい。

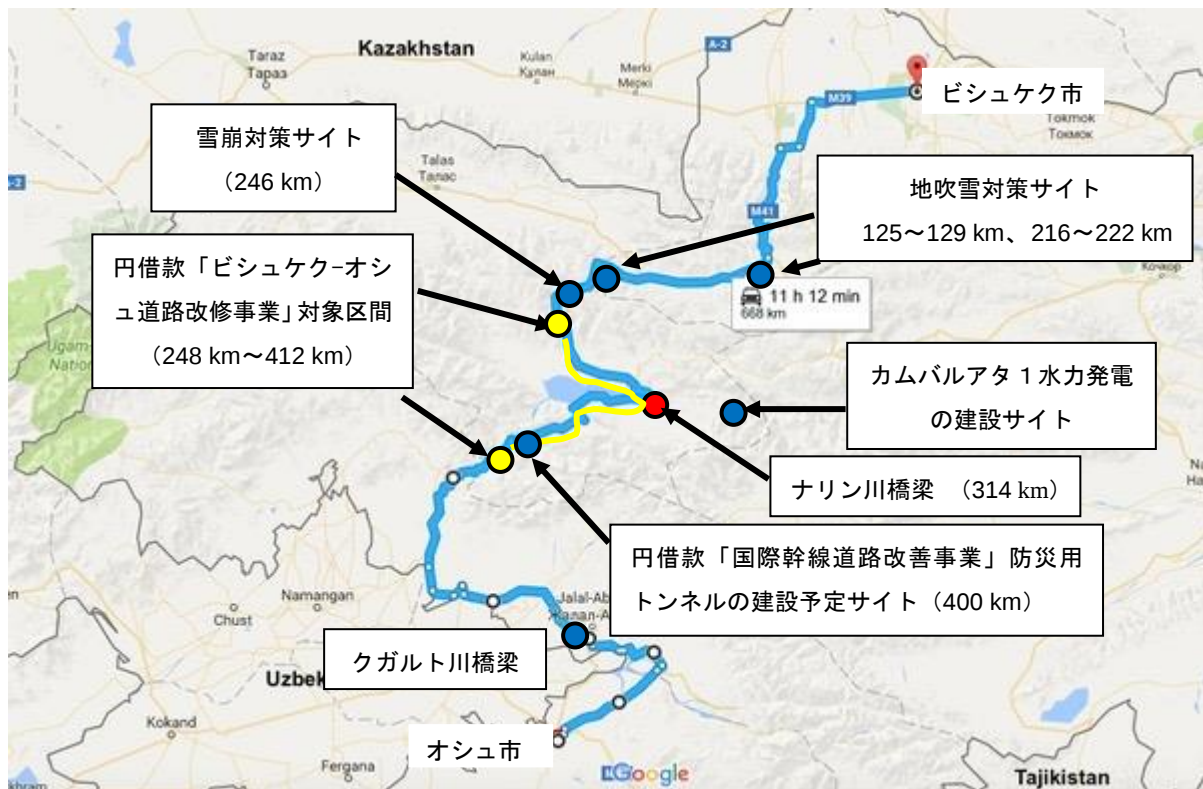
4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ニカラグアが無償資金協力「マナグア―エルラマ間橋梁架け替え計画」（評価年度 2016 年）の事後評価結果において、橋梁の維持管理に必要な塗料や機材、スペアパーツの国内市場（もしくは地域市場）での入手可能性について、計画時に考慮することが事業の継続性確保に重要であるとの教訓が得られている。本計画で整備する橋梁は現時点においてキルギス最長となる見込みであることから、上記の教訓を十分考慮した設計及び現地事情の調査を行う。

以 上

[別添資料] ビシュケクーオシュ道路ナリン川橋梁架け替え計画 地図

キルギス ビシュケクーオシュ道路ナリン川橋梁架け替え計画 地図



出典：Google Maps（地図データ©2023 Google）より JICA 作成